



コーポレートカラーをイメージし青とグレーを基調とした新ユニホーム

「未来を描く、未来へつなぐ未来をつくる」コンセプトに

日本道路、ユニホームとヘルメットリニューアル

日本道路が9月1日にユニホーム

をリニューアルする。刷新は31年ぶりでコンセプトは「未来を描く、未来へつなぐ、未来をつくる」。人と地球に優しくサステナブルな社会づくりに貢

献する意味を込めた。素材にサトウキビの廃糖蜜などを含む植物由来のポリエステル繊維を使用。デザインや仕様などは社員にアンケートするなどして使いやすさにこだわった。

刷新するのは作業服、防寒服、ヘルメット。作業服は植物由来の素材で吸汗速乾性に優れる。防寒服は薄いながらも防寒性の高さが特徴だ。ヘルメットは上

部に通気孔が三つありムレを防止。企画・生産はスポーツ用品メーカーのアシックスジャパンに依頼。脇などの可動部に伸縮性の高い素材を採用するなど、作業のしやすさを追求している。

着用した社員からは「防寒服」

「なのに薄くて動きやすい」「ポケットの位置が改善され使いやす」との声が寄せられている。ダイバーシティ（多様性）の観点から女性用パンツも展開する。

未使用の旧ユニホームは、難民や災害被災者に衣料品を提供する日本救援衣料センター（大阪市中央区、春日和夫理事長）へ寄付する予定だ。